

第5号様式（第8条関係）

実績報告書

令和6年 3月 13日

(宛先) 富士市長

所在地
団体名
代表者
電話番号

ゆるりと
徳永 祥子

令和5年 6月 29日付け 第225号による交付の決定を受けた事業が完了したので、関係書類を添えて次のとおり報告します。

交付決定額	100,000円			
事業の名称	不登校等親子のサポート事業			
事業の目的	富士市を中心とした、登園登校しぶり、不登校、ホームスクーラー、発達障害、HSC（Highly Sensitive Child：とても敏感・繊細であり、豊かな感受性を持った気質の子ども）、起立性調節障害等で悩みを抱える親子に、子ども達の学ぶ機会や社会と繋がる居場所を提供する。また当事者や支援者、地域の方々と不登校や発達障害について学んだり、社会から孤立しないようにする事を目的として活動している当団体の周知の拡充を図り、事業を本当に必要としている人たちに届ける。			
事業の内容	各専門家講師を招いた講座7回、親の会（おしゃべりデイ/月1、2回）、親子の会（あそぼうデイ、オープンデイ/月1、2回）オンラインの会、個別相談等。			
事業経費	総額	市補助金	自己負担	その他
	122,632円	100,000円	4,822円	17,810円
着手年月日	2023年 7月 8日			
完了年月日	2024年 3月 9日			
事業の成果	子どもの意思を尊重する重要性や、具体的な学校とのやり取りを伝え、同じ立場での理解や繋がりは保護者の安心に直結し、それが子どもたちの健やかな成長の一助になっている。 また、少人数でのイベント開催により、親子で安心できる環境で様々な経験が出来た。			

事業の課題	子どもたちの家庭以外の安心できる居場所、家族以外の信頼できる人との継続的な繋がりをさらに深めていくのが、社会的ニーズでもあり、当団体の来年度の課題である。 また、保護者や地域の方々の知識や感覚のアップデートがさらに必要であり、当事者の声をまとめて各関係機関へつなげ、必要な支援を明確にするためにも今後も継続して活動する必要がある。
当該事業及び 団体に係る 今後の計画等	(事業) おしゃべりデイや講座は来年度も継続して開催する。 オープンデイ等親子のためのイベントは、子どもたちの作品展を計画している。 (団体) 5月19日 協力団体として 不登校サミット(仮) ロゼシアター
添付書類	収支報告書、実施報告書、写真、

収支報告書

	区分	日付	内容	金額 (円)
収入	参加費	7月18日	とりあえず明日を考える会参加費500円×5人	2,500
		9月27日	HSP (HSC)を知る☆お話し会参加費500円×6人	3,000
		12月2日	家族はチーム参加費500円×3人	1,500
		12月9日	つくってみよう練り切り参加費1,320円×8人(材料費)	10,560
	食品	12月9日	練り切り完成品1個	250
	市補助金			100,000
	自己負担			4,822
	収入合計			122,632
支出	講師料	7月18日	とりあえず明日を考える会	5,000
		9月27日	HSP (HSC)を知る☆お話し会	7,000
		12月2日	家族はチーム	7,000
		12月9日	つくってみよう練り切り	6,600
		1月13日	聴き上手になろう①	7,000
		2月3日	聴き上手になろう②	7,000
		3月9日	聴き上手になろう③	7,000
	講師料 計			46,600
	消耗品費		文房具、コピー用紙	7,241
			練り切り材料費	10,560
			練り切り完成品250円×2 (内1個は謝礼)	500
		消耗品費 計		18,301
	会場費	9月27日	ouchi salon coloris~彩~	3,000
		1月31日	POLAルン・ひまわり永田町	500
	会場費 計			3,500
	印刷製本費		チラシ印刷費	49,231
			チラシデザイン謝金	5,000
	印刷製本費 計			54,231
	支出合計			122,632

活動の様子

7月18日 とりあえず明日を考える会
(伝法まちづくりセンター)



9月27日 HSP(HSC)を知る☆お話し会



8月28日 チラシ仕分け作業
(岩松北まちづくりセンター)



12月2日 家族はチーム
(富士北まちづくりセンター)



12月9日 つくってみよう練りぎり



1月13日、2月3日、3月9日聴き上手になるう



毎月のおしゃべりデイ

